

👉 赤れんが

「ブラウン”縁の下の力持ち”(1) 資源回収業者さん(p、4)の続きです。

「財布を古紙回収に出してしまった！！」

「オー・マイ・ガッー！！」

通帳・カード・現金、、、いずれも額はたいしたことはないけれど、健康保険証まで入れていたAさんにとっては、驚愕の事態。



季節は、冬。それも、夕方の5時近く。ブラウンでの回収作業を終えて、違う街區で回収を行っていた回収業者のGさんとなんとか、連絡が取れて、必死で事態を訴えるAさん。

すいかずら、、、
ほのかに甘い香りがします

しかし、すでに、回収した古紙は、中間処理場に運び込まれていました。

「そんなこと言われても、探すなんて不可能！！」

Gさんは、この道のプロ。「古紙の行方」がわかっているだけに、「泣きつれてもなあ、、、ったく！！困ったもんだ、、、」という思いだったと思うのですが、ご自分の仕事を中断し、Aさんのところまで戻ってきてくれました。



「これまでも何度か、お札を雑誌にはさんで古紙に出してしまっただけで、見つけれないか?!と焦って、やって来る人もいたけれど、あの中から、探すなんて、無理、無理。不可能ですよ、、、。」とGさん。

なんせ、回収した古紙は、中間処理場でどんどんベルトコンベアーに乗っけられて、大きな塊に圧縮され、塊状態で山積みに。一辺が約3mの巨大なサイコロ状に圧縮された塊。それも、どの塊かも分からない。そこから、財布を探そうなんて、、、。

ヤマボウシ、、、

真ん中のまあるい部分、秋には薄オレンジ色の実になります。食べると、甘くねっとりした感じ。

絶望のどん底に落ちていくしかないAさん。

Gさんは、巨大なサイコロを見れば、あきらめもつくのでは、、、と考えたのか、すっかり暗くなった中、トラックでAさんを中間処理場に連れて行ってくれました。

助手席で、Gさんの奥様が、Aさんの棟の回収は午後だったし、中間処理場の作業は5時で終わるので、まだ、サイコロにはなっていないかも、、、と言いだしたのです。



かすかな希望が胸にともったAさん。なんとか、塊にはなっていませんように、、、祈る思いで到着したのは、市大病院近くの中間処理場。

ニオイバンマツリ、、、

白から紫に変化し、甘い香りが。香りは夜になるほど強くなります。

(富岡東地域ケアプラザ前)

そこで、目にしたのは、、、？！

なんとということでしょう！！

一日の仕事を終えて、静かにお休み中のベルトコンベアの先には、今日、処理しきれず残った古紙の山。



キキョウソウ、、、
1cm弱の桔梗に似たかわいいお花。だんだんについたハート型の葉の上に咲いています。別名、ダンダンキキョウ。

「十字にかけた〇〇新聞の回収袋ですうー！！」と、古紙の山に突進するAさん。薄暗がりの中、Gさん、奥様の3人は、古紙の山に駆け上って、必死に古紙をかきだす作業。

すると、、、これまた、なんとということでしょう！！**奇跡が起きたのです！！**

Aさんには、掻き出してから10分たつか、たたないかの感覚だったのですが、「これじゃあないのー？！」と、Aさんの財布を右手に高く掲げて叫ぶGさん！！



「そっ、そっ、それですうー！！」まさに、奇跡の瞬間。本当に奇跡が起きたのです。大きな古紙の山から、Aさんの財布が見つかったのです！！

まさに、Aさんにとっては、絶望から奇跡の生還。Gさんご夫妻に感謝してもしきれない瞬間でした。

マツバウンラン、、、
針金のように細い茎に松葉のように細く小さい葉。
ヒョロッと伸びた先端に5mmほどの薄紫の花。
これでも、「ラン科」の仲間。
(並木中央駅下の横断歩道近く)

驚きと喜びで呆然としていたAさんに、「はい、見つかったぞ祝い。」と自販機で買った缶コーヒーを、笑顔で差し出すGさん。

両手で受け止めた缶コーヒーのあったかさ。Gさんご夫妻お人柄のように、ゆっくり、じんわり、Aさんの心と体に広がっていきました。

さらに、ご親切にも家まで送ってくださると言うGさん。

「本当にラッキーだったね。」「ラッキーな偶然が重なった結果だね。雑誌にはさんだお礼、、、なんていうのだったら、見つかりっこなかった、、、。」と、しみじみGさん。

そう、本当に信じられないくらいラッキーなことでした。

午後の回収だったこと。中間処理場に運びこんだ時間が遅くて、5時の作業終了で塊にはならなかった上に、古紙の山の表面近くだったこと。回収袋で古紙回収に出していたこと。そして、財布だったこと、、、。

Gさんご夫妻の言葉に、幸運をかみしめながら、ウンウンとうなづくAさん。



ネジバナ、、、
梅雨時、ブラウンのまわりでも、ツンツン伸びています。らせん状についた小さなお花。まさに「ねじりばな」。別名、もじずり。あの百人一首の「みちのくのしのぶもじずりだれゆえに みだれそめにし われならなくに」の「もじずり」です。



作業場の様子を思い起こしながら、本当にそのとおりだった、、、あの巨大なサイコロになっていたら、こんな奇跡は起こらなかった、、、。

財布を古紙回収で出すという自分の間抜けさをしみじみ、後悔しながら、Gさんご夫妻のご親切に涙ぐみそうになったAさんでした。

Gさんは、ブラウンでAさんを降ろして、やり残した回収作業に向かいました。その日、ご自宅に戻ったのは、夜、遅くなってからのことだったと思います。

本当にブラウンの回収業者さんがGさんで良かった、、、。ドジなAさんに、本当に親身になって対応して下さったGさん。

土曜日、資源ゴミを出す日は、出し方にそれまで以上に注意するようになったAさん。回収作業の音が聞こえると、自分のいい加減さを改めて反省するAさんなのでした。

モイロヒルザキツキミソウ、、、黄色の待宵草は、昼間はしぼんでますが、名のとおり、日中に咲く、ほのかなピンクがかわいいお花です。

Aさんに起きた、ウソみたいな「奇跡の物語」を聞いて、、、

資源ゴミを出す際には、古着のポケットとか、雑誌の間になにか挟んではいなかったかなど、確認することって必要なんだということ。

そして、家庭ゴミなども含め、回収して下さる方々が少しでも作業しやすいよう、少しばかりの心配りを、、、そうしたことを大事にしたいなと思った次第です。



トケイソウ、、、これは、多分、園芸種。つる性の、まさに「時計」のようなお花。別名、パッション・フラワー。このお花の”パッション”は、「情熱」ではなく、「受難」の意味とか。(金沢資源循環局に行く大通りの途中で)

おわび

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

格調高いブラウンのHPに、このような記事を載せるなんて、、、と、お叱りを受けそうですが、ブラウンの資源回収をやって下さっている業者さんの誠実なお仕事ぶりをご紹介したくて、書かせていただきました。

ブラウンでの日々の生活は、こうした方々のお仕事の上に支えられているのですね。

* ブラウンの小さなお花 *

安いデジカメのため、鮮明でない画像もある上に、どちらかという、「並木周辺のお花たち」になってしまったことも、あわせてお詫びいたします。

♥♥♥ここ数年、梅雨が明けるといっきに真夏の暑さ、、、という感じです。

皆様、お体、ご自愛ください。♥♥♥

(自治会広報部)